様式　2

定期試験（口述試験）日割表

中部運輸局（名古屋市）　令和元年7月施行

	月　　日	曜　日	試　験　の　種　別	
第　1　日	7月30日	火	6級海技士（航海） 5級海技士（航海）	6級海技士（機関） 5級海技士（機関）
第　2　日	7月31日	水	5級海技士（航海） 4級海技士（航海）	5級海技士（機関） 4級海技士（機関）
第　3　日	8月1日	木	5級海技士（航海） 4級海技士（航海）	5級海技士（機関） 4級海技士（機関）
第　4　日	8月2日	金	4級海技士（航海） 3級海技士（航海）	4級海技士（機関） 3級海技士（機関）
第　5　日	8月5日	月	3級海技士（航海） 2級海技士（航海）	3級海技士（機関） 2級海技士（機関）
第　6　日	8月6日	火	3級海技士（航海） 2級海技士（航海） 1級海技士（航海）	3級海技士（機関） 2級海技士（機関） 1級海技士（機関）
第　7　日	8月7日	水	2級海技士（航海） 1級海技士（航海）	2級海技士（機関） 1級海技士（機関）
第　8　日	8月8日	木	2級海技士（航海） 1級海技士（航海）	2級海技士（機関） 1級海技士（機関）
第　9　日	8月9日	金	2級海技士（航海） 1級海技士（航海）	2級海技士（機関） 1級海技士（機関）

注　　**＊この日割りは中部運輸局のみであり、全国同一ではありません。**

1. 身体検査は、口述試験の開始直前に行います。
2. 受験者数が予定より増加し、日割どおり実施できない場合は日割を変更し、申請書受付終了後にあらためて日割表を掲示します。
3. **各受験者個々の実施日、集合時間は別に発表しますので、その集合時間に試験事務窓口に集合してください。**

個々の実施日、集合時間の発表は各級の筆記試験合格発表日に合わせて試験事務窓口に掲示します。

また、中部運輸局のホームページ（http://wwwtb.mlit.go.jp/chubu/）でも公表します。

◎ホームページの閲覧方法〔中部運輸局トップページ → 国家試験 → 海技士国家試験　合格発表〕

なお、発表の内容（個々の実施日、集合時間）について電話等での問い合わせには応じません。郵送による通知を希望される方は、返信用封筒を中部運輸局海上安全環境部船員労働環境・海技資格課に送付してください。

◎試験事務窓口・・・　〒460－8528　名古屋市中区三の丸2－2－1名古屋合同庁舎第一号館 9F
中部運輸局　海上安全環境部　船員労働環境・海技資格課

＊口述試験（身体検査）受験当日の案内＊

中部運輸局海上安全環境部

船員労働環境・海技資格課

◎ 集 合 時 間

・各受験者個々に指定された実施日の集合時間までに試験事務窓口（「9F船員労働環境・海技資格課窓口」以下同じ）に集合してください。

※申請時に書類の不備、証明書類原本提示等の連絡があった者は早めに集合し、事前に手続を済ませておいてください。

・時間になりましたら窓口担当者が試験場に案内しますので手荷物を持って従ってください。

・試験場に入りましたら手荷物は後ろの台（長机）に置いてください。

◎ 試 験 の 順 序

身体検査 ⇒ 身体検査合格判定・受験票返却 ⇒ 口述試験 ⇒ 終 了

〇身体検査省略の方は、他の受験者の身体検査終了まで静かにお待ちください。

〇身体検査終了後、引き続き口述試験に入りますので、あらかじめ受験票・海技試験六法等の準備を済ませておいてください。

◎ 試 験 の 概 要

＊身 体 検 査

・身体検査は、運動機能（屈伸運動）の検査を行いますので、**動きやすい服装**で受験してください。

・両手を伸ばした状態で、受験者同士が前後、左右、当たらない程度の間隔で立ち、試験官の指示により運動を行います。

＜合格判定＞

・運動機能検査終了後、試験官から口頭にて判定を受けます。

・名前（又は受験番号）を呼ばれましたら試験官の前に行き、姓名を言ってください。

・受験票は判定結果を記入（又は押印）のうえ、その場で返却されます。

＊合格の有効期間：1年 （判定日から試験申請日まで）

＊口 述 試 験

・身体検査終了後、引き続き口述試験に入りますので、受験票、海技試験六法等を準備のうえ試験官の指示に従ってください。

・口述試験が終わりましたら試験は全て終了です。

・試験終了までに特に指示、連絡事項等がなければ、そのままお帰りいただいて結構です。

・お帰りになる際には受験票、手荷物等忘れ物のないよう願います。

※結果発表の郵送による通知を希望する者は、試験事務窓口に申し出てください。

※合格後の免許申請については、別紙＜海技士免許申請手続き＞を参照してください。

＊＜海技士免許申請手続き＞は、口述試験日に配付します。